



減らそう犯罪

県民の安心感に関するアンケート調査結果 (平成 28 年)

1 趣 旨

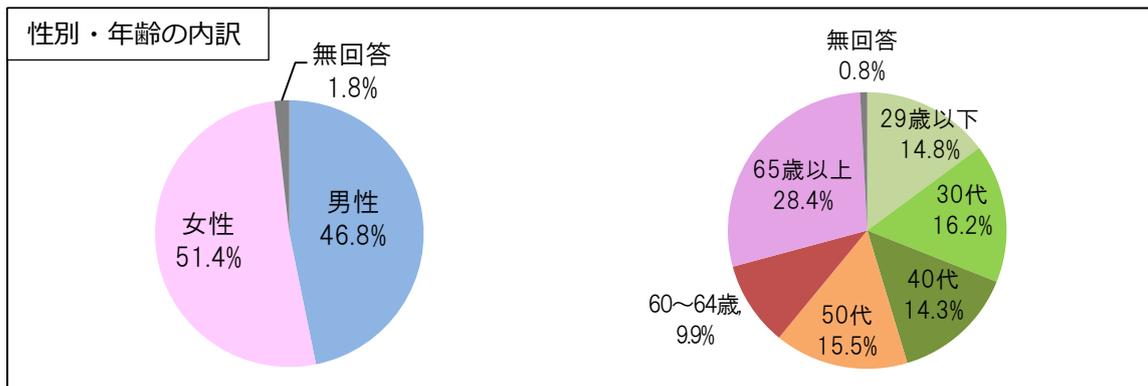
第4期アクション・プランの運動目標に掲げた「体感治安の向上」の達成状況を確認するとともに、目標達成に向けた取組の一層の推進を図るため、地域住民に対するアンケート調査を行ったもの。

【把握すべき事項】

- ① 体感治安の現状
- ② 防犯意識（防犯対策）の浸透度
- ③ 体感治安の向上に向けて重点的に抑止対策を行うべき犯罪
- ④ 体感治安に影響する要因

2 調査方法

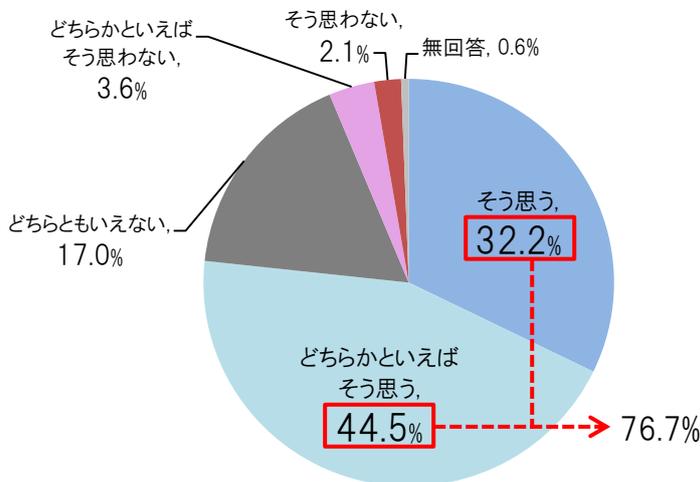
- サンプル数：2,187人
- 実施期間：平成28年8月22日～8月31日
- 調査方法：県内全307の交番・駐在所等の警察官が受持区域の住宅等を戸別訪問するなどして実施。



3 調査結果

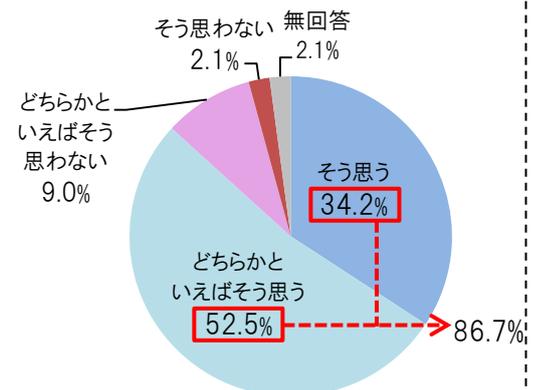
① 体感治安の現状

問 現在、あなたがお住まいの地域は、治安が良く、安全で安心して暮らせる地域だと思いますか。



居住地の体感治安について、
76.7% の県民が肯定的
5.7% の県民が否定的

参考データ (H26 年度県政世論調査)

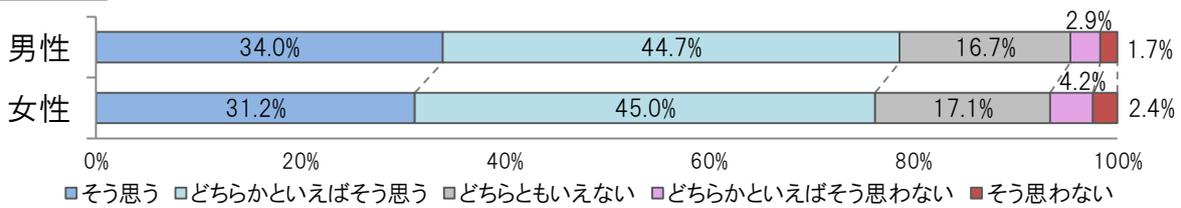


※ 「どちらともいえない」の設定なし。

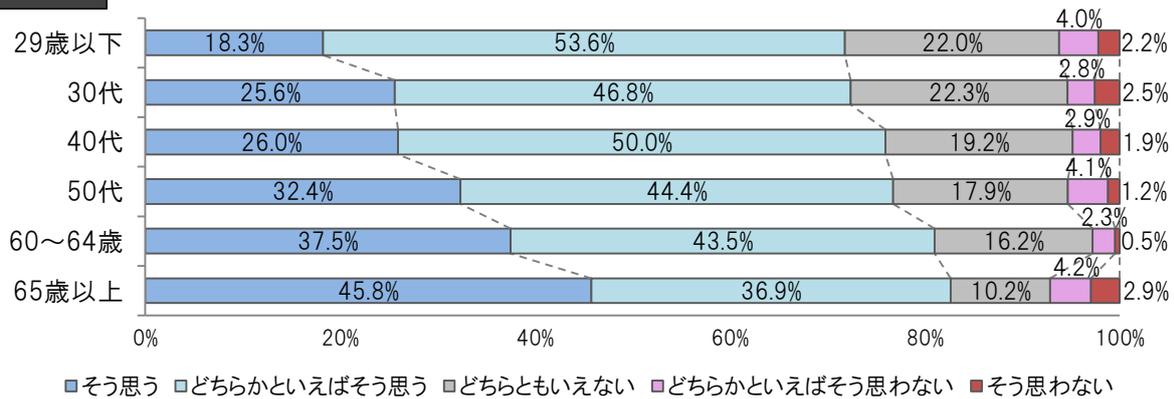
属性別の体感治安

男女別

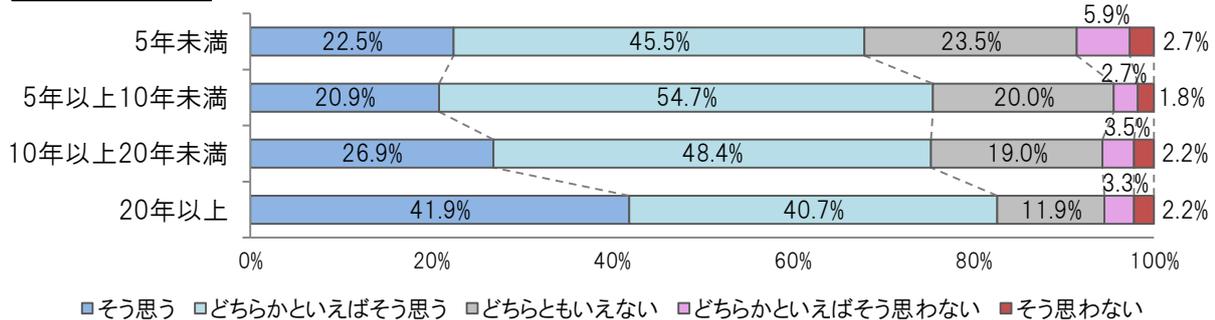
現在、あなたがお住まいの地域は、治安が良く、安全で安心して暮らせる地域だと思いますか。(以下同じ)



年齢別



居住年数別



- 男女別では、治安良好と回答した女性は男性と比べて 2.5 ポイント少ない。
- 年齢別では、年齢が下がるほど体感治安が低く、29 歳以下の方は 65 歳以上の方と比べて 10.8 ポイント低い。
- 居住年数別では、居住年数が短いほど体感治安が低く、5 年未満の方は 20 年以上の方と比べて 14.6 ポイント低い。

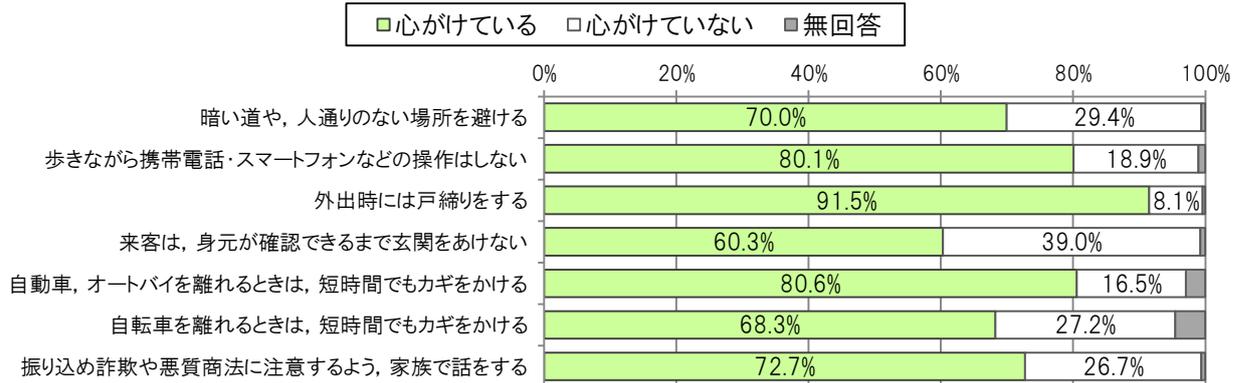
治安良好と思わないと回答した理由

本人や身近な人が犯罪被害に遭った、遭いそうになった（アポ電話等）	21 人
居住地域内で実際に犯罪が発生した	14 人
暴走族やバイクの音がうるさい、少年がたむろしている・深夜徘徊等	11 人
不審者（情報）が増えた	10 人
地域の連帯感が希薄になった（知らない人が増えた、近隣トラブルがある）	8 人
人のモラルが低下した（交通違反・マナー違反・迷惑行為が増えた）	8 人
犯罪被害に遭うことに対する漠然とした不安感（何となく）	4 人
その他	29 人
無回答	18 人

※ フリーアンサーで得た回答を分類したもの。

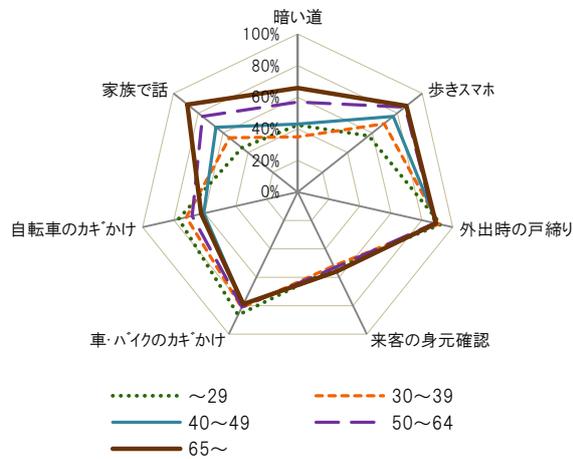
② 防犯意識（防犯対策）の浸透度

問 あなたは、日頃から次のようなことを心がけていますか。

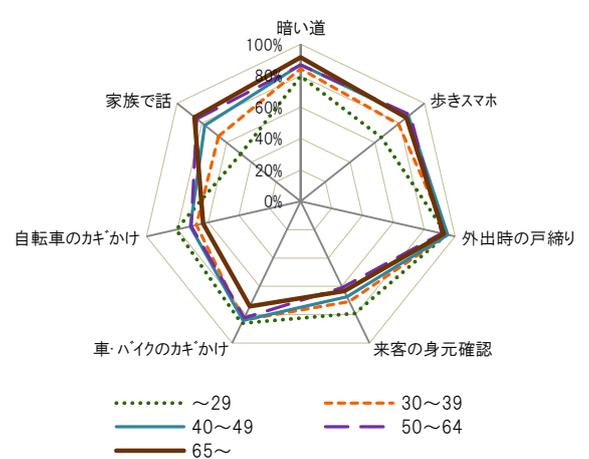


男女別

防犯意識（県全体・男性・年代別）



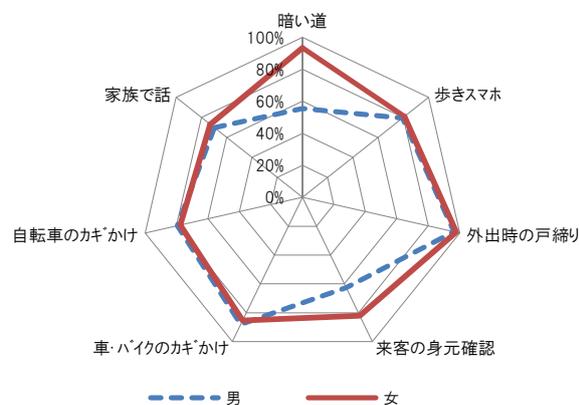
防犯意識（県全体・女性・年代別）



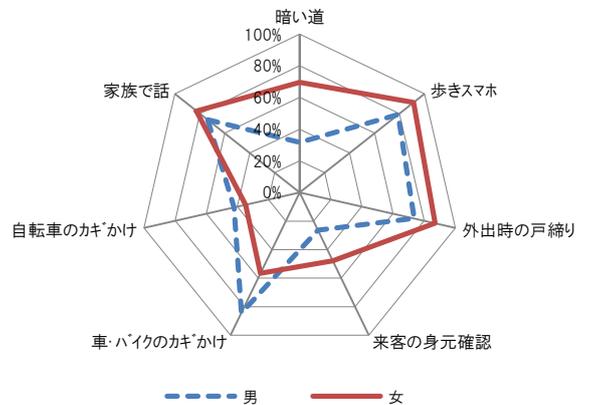
- 男女別では、「暗い道を避ける」、「来客の身元を確認する」については、女性の割合が高い。
- 年齢別では、「家族で話をする」は若いほど割合が低く、「カギかけ」は高齢になるほど割合が低い。

地域別

防犯意識
(男女別・都市部の例～広島中央署管内)



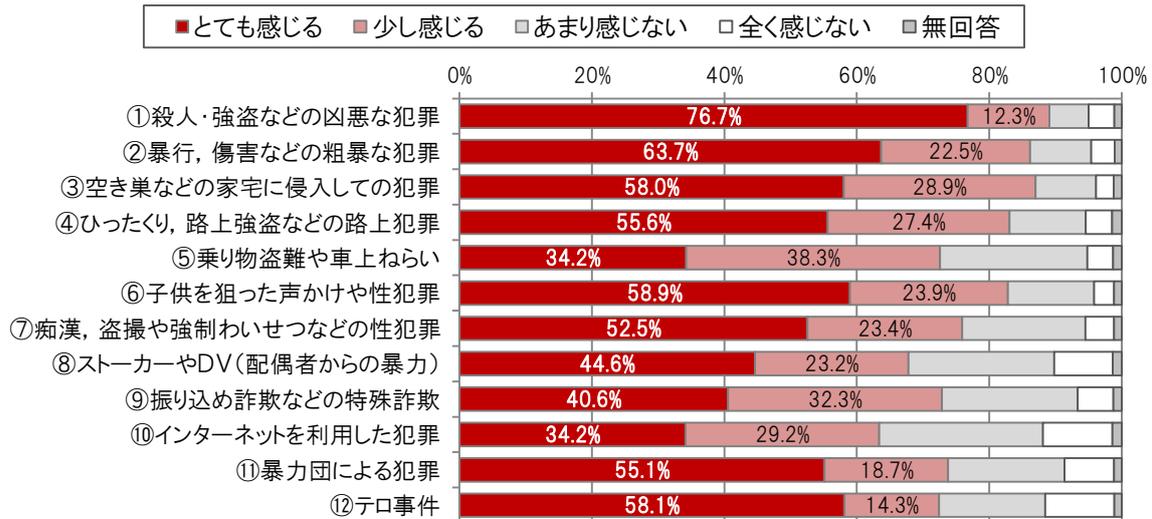
防犯意識
(男女別・中山間部の例～庄原署管内)



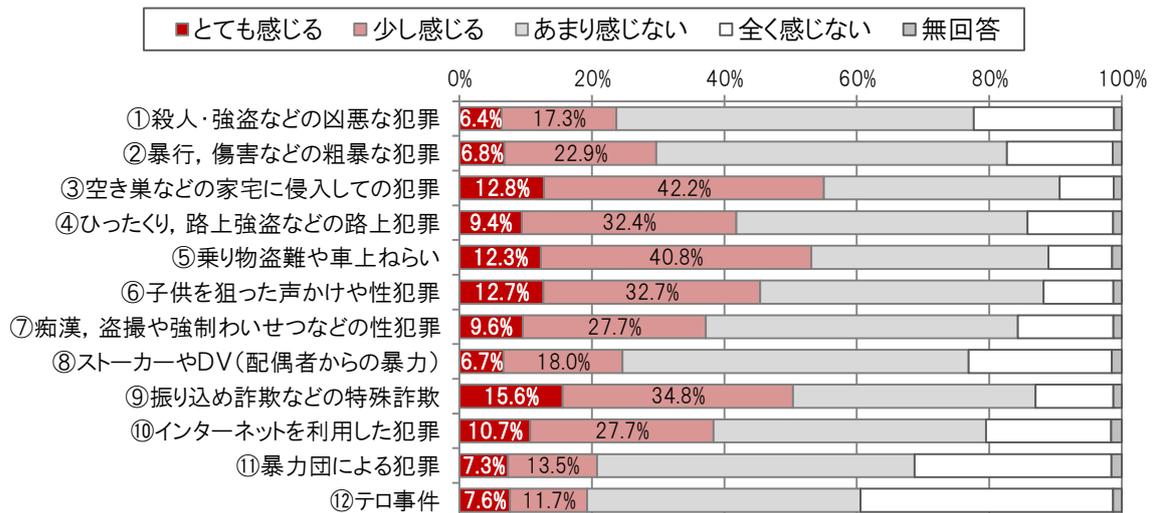
- 都市部では、全般的に防犯意識が高いが、男性の場合、「暗い道を避ける」「来客の身元を確認する」は割合が低い。
- 中山間部では、男性は女性に比べて「カギかけ」の割合が高く、その他は女性の方が高い。

③ 体感治安の向上に向けて重点的に抑止対策を行うべき犯罪

問 あなたは、次の各々の犯罪に対して、どの程度「怖い」と感じますか。【犯罪脅威度】

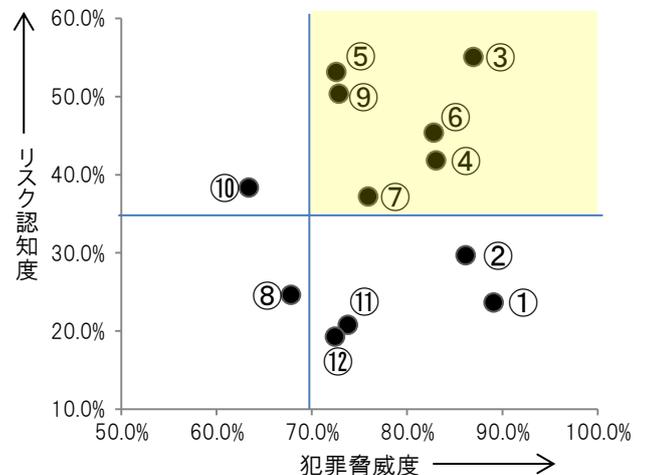


問 あなたは、お住まいの地域で、次の各々の犯罪に対して「自分や身近な人が被害にあう可能性」をどの程度感じますか。【リスク認知度】



犯罪脅威度 × リスク認知度

	犯罪脅威度	リスク認知度
①殺人・強盗などの凶悪な犯罪	89.1%	23.7%
②暴行、傷害などの粗暴な犯罪	86.1%	29.7%
③空き巣などの家宅に侵入しての犯罪	87.0%	55.1%
④ひったくり、路上強盗などの路上犯罪	83.0%	41.8%
⑤乗り物盗難や車上ねらい	72.6%	53.1%
⑥子供を狙った声かけや性犯罪	82.8%	45.4%
⑦痴漢、盗撮や強制わいせつなどの性犯罪	75.9%	37.2%
⑧ストーカーやDV（配偶者からの暴力）	67.8%	24.6%
⑨振り込め詐欺などの特殊詐欺	72.8%	50.4%
⑩インターネットを利用した犯罪	63.4%	38.4%
⑪暴力団による犯罪	73.8%	20.8%
⑫テロ事件	72.4%	19.3%



身近な犯罪（侵入窃盗、街頭犯罪など）や子供・女性を狙った犯罪、特殊詐欺などが、犯罪脅威度（犯罪そのものの怖さの程度）とリスク認知度（被害に遭う可能性を感じる程度）がともに高い。

さらに、③侵入窃盗、⑤乗り物盗難や車上ねらい、⑨特殊詐欺については、過半数が被害に遭う可能性を感じている。

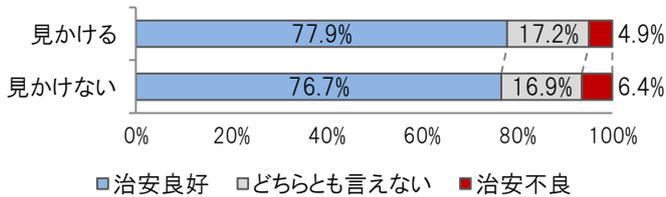
④ 体感治安に影響する要因

各項目の棒グラフは、それぞれについて「見かけるかどうか」に対する回答と、「現在の居住地域は、治安が良く、安全で安心して暮らせる地域だと思うか」に対する回答とをクロス集計したもの。

体感治安を悪化させる環境

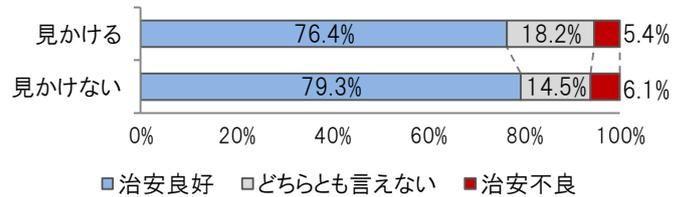
空き家、空き店舗、荒れた空き地や公園

見かける 52.0% 見かけない 47.2% 無回答 0.8%



夜、街灯が少なく暗いところ

見かける 68.4% 見かけない 30.6% 無回答 0.9%

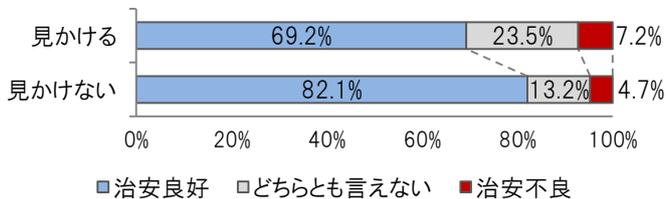


■ 治安良好 □ どちらとも言えない ■ 治安不良

■ 治安良好 □ どちらとも言えない ■ 治安不良

乗り捨てられた自転車やオートバイ

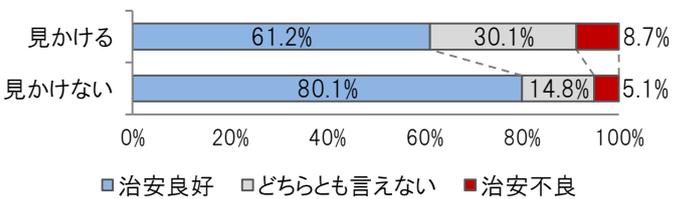
見かける 36.8% 見かけない 62.4% 無回答 0.8%



■ 治安良好 □ どちらとも言えない ■ 治安不良

スプレーによる落書き

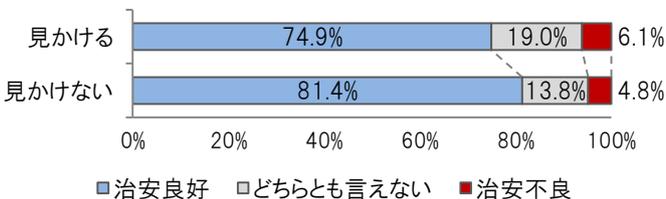
見かける 14.8% 見かけない 84.4% 無回答 0.8%



■ 治安良好 □ どちらとも言えない ■ 治安不良

路上に捨てられたゴミやタバコの吸い殻

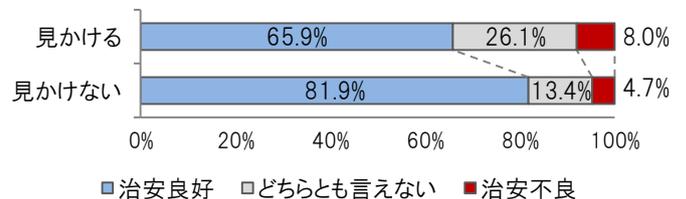
見かける 62.4% 見かけない 36.9% 無回答 0.7%



■ 治安良好 □ どちらとも言えない ■ 治安不良

夜、たむろしている若者

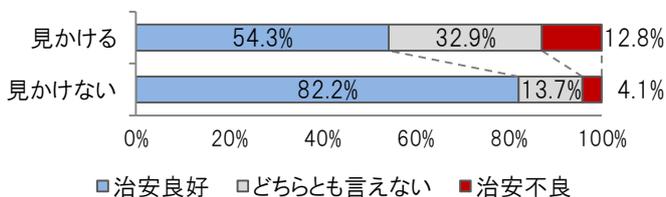
見かける 28.2% 見かけない 71.1% 無回答 0.7%



■ 治安良好 □ どちらとも言えない ■ 治安不良

大声でさわいでいる人、けんか、路上での飲酒

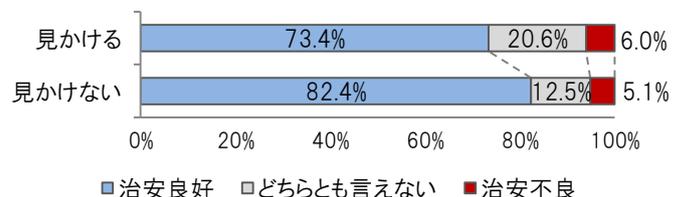
見かける 17.1% 見かけない 82.1% 無回答 0.8%



■ 治安良好 □ どちらとも言えない ■ 治安不良

爆音を立てて走るオートバイや自動車

見かける 56.1% 見かけない 43.0% 無回答 0.8%



■ 治安良好 □ どちらとも言えない ■ 治安不良

調査した環境要因のうち、治安良好と感じる割合に悪影響を与えるものは、順に、

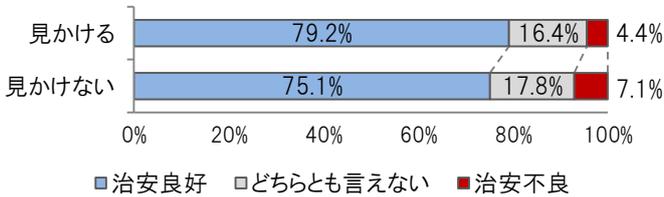
- ① 大声でさわいでいる人、けんか、路上での飲酒（治安良好と感じる割合の差 -27.9p）
- ② スプレーによる落書き（同 上 -19.0p）
- ③ 夜、たむろしている若者（同 上 -16.0p）
- ④ 乗り捨てられた自転車やオートバイ（同 上 -12.8p）
- ⑤ 爆音を立てて走るオートバイや自動車（同 上 -9.0p）

となっている。

体感治安を向上させる環境要因

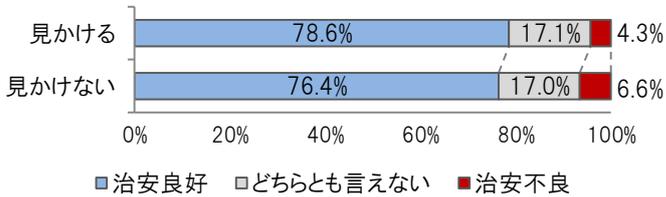
住民による防犯パトロール

見かける 53.1% 見かけない 46.0% 無回答 0.8%



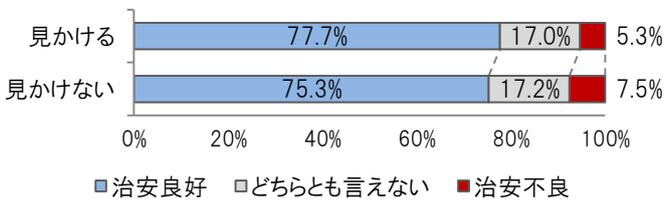
青色防犯パトロール車

見かける 40.5% 見かけない 58.6% 無回答 0.9%



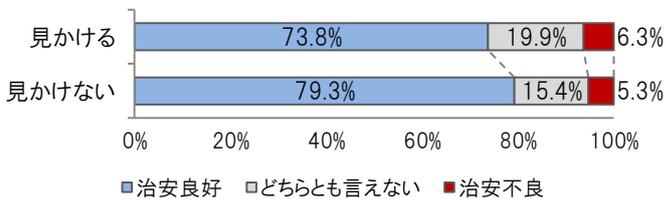
パトロールしている警察官, パトカー

見かける 84.0% 見かけない 15.2% 無回答 0.8%



公共の場所に設置された防犯カメラ

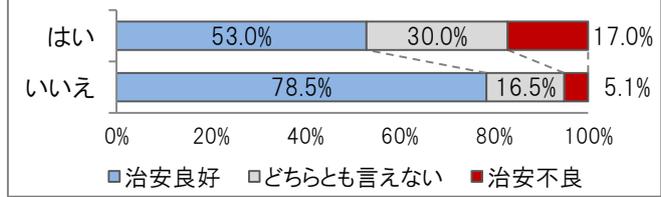
見かける 35.6% 見かけない 63.4% 無回答 1.0%



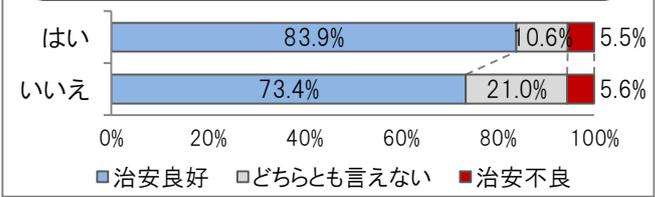
調査した環境要因のうち、治安良好と感じる割合に好影響を与えるものは、順に、
 ① 住民による防犯パトロール（治安良好と感じる割合の差 +4.0p）
 ② パトロールしている警察官, パトカー（同上 +2.4p）
 ③ 防犯パトロール車（同上 +2.2p）
 となっている。

体感治安に影響を与えるその他の要因

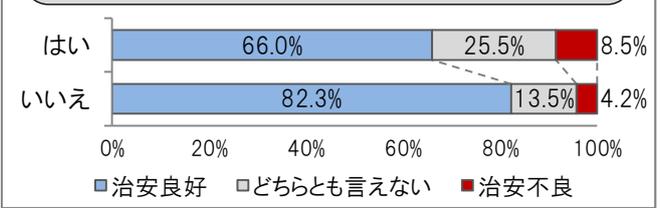
この1年間に、犯罪の被害にあったことがある



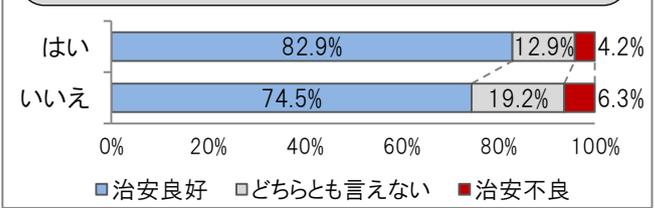
65歳以上の高齢者と同居している



近所づきあいは、ほとんどない



自主的な防犯活動に参加したことがある



一人住まいである



自己の経験や生活形態も体感治安に影響しており、
 犯罪被害の経験や地域コミュニティの欠如はマイナス方向に、
 家族との同居や防犯活動への参加はプラス方向に作用しているといえる。

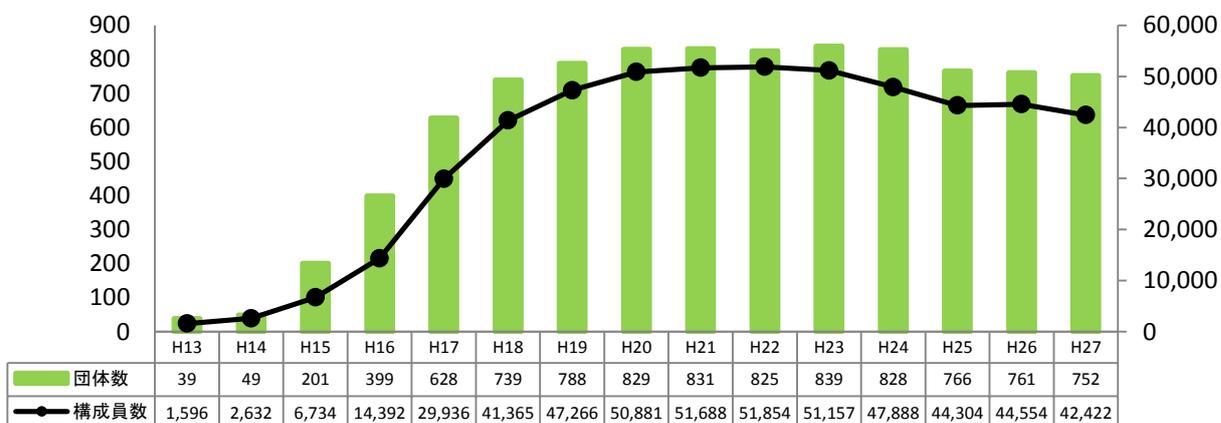
防犯ボランティア団体の団体数・構成員数・平均年齢の推移

年次	団体数	構成員数	平均年齢
H18	739	41,365	55.7
H19	788	47,266	56.4
H20	829	50,881	58.9
H21	831	51,688	57.7
H22	825	51,854	56.5
H23	839	51,157	56.2
H24	828	47,888	56.7
H25	766	44,304	59.3
H26	761	44,554	59.7
H27	752	42,422	62.2

※ データは各年12月末現在の各警察署把握分を集計したもの。

※ 平均年齢は、各団体の平均年齢の和を団体数(職域団体を除く)で割ったもの。

防犯ボランティア団体数・構成員数の推移



青色防犯パトロール実施団体数・車両数の推移

